

5 月定例記者会見 質疑応答

▽日時:令和 7 年 5 月 29 日 午前 11 時から

▽会場:稲敷市役所 4 階 全員協議会室

▽参加記者:茨城新聞(2 名)、読売新聞、朝日新聞社、時事通信社、共同通信社

▽参加者(市):市長、副市長、教育長、市長公室長、総務部長、市民生活部長、教育部長、危機管理監、土木管理部長、地域振興部長、保健福祉部長、市長公室企画監、総務課長、政策企画課長、秘書広聴課長、まちづくり推進課長、危機管理課課長補佐、危機管理課主査

■資料 別紙のとおり

■市長あいさつ

改めまして、皆さんこんにちは。本日は、お忙しいところお集まり頂き、ありがとうございます。また、記者の皆様方には、日頃より、本市の情報発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、令和7年度最初の定例記者会見でございます。4月1日の定期人事異動、そして機構改革により、新体制での市政がスタートいたしました。記者の皆様におかれましても、定期異動等により新たにご担当になられた方もいらっしゃると思います。引き続きのご担当の方も新しくご担当になられた方も、どうぞよろしく願いいたします。

さて、本市は、今年3月22日に市制20周年を迎えました。今年度はメモリアルイヤーとして様々な記念事業やイベントを企画しております。4月には、市制20周年記念のチューリップまつり、5月の連休中には、江戸崎 地区内において山車の特別曳き廻しが行われるなど、市内外から多くの方に訪れていただき、本市の豊かな自然や人の温かさなど、その魅力を感じていただくことができました。また、これからも市内小中学生を対象としたオーケストラ鑑賞会の開催や、稲敷の夏の風物詩であるいなしき夏まつり花火大会など、様々な記念事業やイベントが控えております。これを通して、市民の皆様に関心を高めていただくとともに、市外の方へも本市の魅力を発信してまいりたいと考えております。

稲敷市が魅力ある市であり続けるため、これからの新たなステージをしっかりと市民の皆様とともに歩んでまいりたいと考えております。引き続き、記者の皆様方には、本市の様々な情報の発信等にご協力をお願いいたします。

本日は、6月3日開会予定の令和7年第2回稲敷市議会定例会に提出予定の各議案等につきまして、このあと、ご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 質疑応答

【議案第49号 訴えの提起について】

Q: 学校給食費請求の相手方は一般市民の方か

A: 一般市民である

Q: 給食費は何カ月分くらいか

A: 2年分くらいである

Q: 今後は議決が終わったらすぐに訴訟か

A: その予定である

【「江戸崎かぼちゃのほっくりモンブランプリン」の商品化について】

Q: 販売価格は決まっているのか

A: カスミで検討中、現段階ではまだ発表できない

Q: 販売は県内の店舗か？

A: 県内だけでなく、埼玉県、千葉県等の店舗でも販売する

Q: 期間限定ではなく通年での販売か？

A: 時期的に7月～8月に何回かに分けたスポット販売だと聞いている

Q: 販売予定数量は決まっているのか

A: カスミで検討しているが、現段階では市でわかりかねる

Q: 販売のスケジュールはカスミに一任しているのか

A: 基本的に農協とカスミで商談を進めている。

Q: 販促イベント等を行うのか

A: 計画している。決定したらプレスリリースの予定

【図書館配達便について】

Q: 子供が図書館へ行くには保護者の送迎が必須と言うが、どういうことか

A: 市立図書館は東地区にあり、遠い地域に住む子どもが自分で行くには距離的な問題と、路線バスの停留所から離れているため、どうしても保護者が送迎するしかない状況ということ

Q: 最寄りのバス停留所から徒歩でどれくらいかかるのか

A: 徒歩でおよそ5分～10分かかる

【小中学校オーケストラ鑑賞会の開催について】

Q: 楽団は決まっているか

A: つくば市の Y.T.B.E という楽団

【市制20周年記念いなしき夏まつり花火大会について】

Q: 雨天時の実施判断基準は直前か

A: 例年は当日の朝6時だが、事前に悪天候の警報等があれば前日等の判断もありえる。通常の雨であれば予定通り実施する

Q: 花火大会は今回で何回目になるのか

A: 平成8年が第 1 回(江戸崎町)で、平成17年に合併し稲敷市となり、今年が27回目。東日本大震災、コロナ禍で中止した年はある

Q: 例年の来客人数は

A: およそ10万人程度

【議案第 47 号 動産の買入れについて】

Q: 学習用コンピューターというのは児童生徒用のタブレットのことか

A: そのとおり。令和2年、コロナ禍に導入したものが5年を経過したので更新する

Q: 5年で更新するのは国、県等の指導で決まっているのか

A: 通常、パソコン、タブレットの耐用年数が5年。国の補助金を活用する

今回は県との共同調達でないと補助金が交付されないなので、それを活用して更新することにした

Q: 機種は他の市町村と同じか

A: 対象になるものが4種類あり、その中から稲敷市はクロームブックを選定した